

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/26】

この試合のプレー集計

1回戦

長崎県選抜

7	2	—	0
	2	—	1
	2	—	0
	1	—	2

3 東京クラブ

審判:

津崎 明日美
黒谷 真功

長崎県選抜	15	SH数	18	東京クラブ
	9	速攻数	10	
	8	ST・SB	12	
	6	SH・P誘発アシスト	3	
	67%	GK阻止率	30%	
	7	EX反則数	4	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

長崎は予選リーグ方式だった頃からなかなか勝ち抜けず、何とか1勝してベスト8に進みたいところ。対する東京は、前回大会では初戦で高知に逆転負けを喫し、今大会では是が非でも上位進出を果たしたいところ。

【1P】

双方なかなか決定機を作れない序盤、先制したのは長崎。東京の攻撃をGK⑬荒木のセーブを含めて長崎がよく守り、退水攻撃で③永田と②磯部が決めて2点。東京も退水攻撃を含めて攻めるが、長崎の戻りも素早く、シュートも前に出て守る長崎GK⑬荒木を崩せない展開が続いた。第1ピリオド、長崎2-0東京で終了。

【2P】

ここでも長崎GK⑬荒木の好守備から長崎が退水を誘発し、そこを③永田が決めて3点目。東京は5対4カウンター攻撃から②森川が決めて1点を返す。長崎の攻撃は後ろ3人を完全に残しての少数攻撃。ディフェンス重視の戦法が功を奏し、ボール接点での囲い込みで東京の攻撃を摘み、左サイドドライブで⑧林田が決めて4点目をゲット。東京はカウンター攻撃を仕掛けるが、引いて守る長崎守備を崩せず、長崎GK⑬荒木の守り位置も絶妙でなかなか決定機を作れないまま第2ピリオド終了(長崎4-1東京)。

【3P】

東京は引いて守る長崎に手を焼く展開が続く。それでも攻防の転換時に退水を誘発し、シュートまで至るが枠外。そのボールをただ一人前線に繰り出す⑧林田が東京DFを振り切って5点目をマーク。完全に長崎ペースの試合となってきた。ようやく長崎側の退水攻撃でのミスを超えて中央突破した②森川がペナルティを誘発したが、Pシュートを長崎GK⑬荒木が好セーブ。逆にそこを⑨中村が押し込んで長崎リードは変わらず、長崎6-1東京で第3ピリオド終了。

【4P】

最終ピリオド、東京の猛攻が続く。カウンター攻撃を含めて長崎ゴールにどんどん迫るが、ノーマークSHも長崎GK⑬荒木がセーブ。猛攻をしのいだ長崎が人数をかけて攻め上がり、右サイドから左利きの⑮梶原が決めて7点目。東京は長崎の攻撃ミスから退水を連続して誘発し、⑦金原、③南が決めて点差を詰めるが、そのまま試合終了。長崎7-3東京という結果となった。

長崎らしい水球スタイルに関東の強豪・東京が翻弄された一戦となった。関東にはGKを軸に完全に引いてプレーするチームが少なく、東京側はかなり戸惑いを感じながらの試合となったことから、長崎が一枚上だった。長崎には日本代表のGK佐々野が育ったように、優れたGKの土壌があることを見せつけた試合となった。